



新型コロナウイルス感染症への 対策と影響



今春は思いもよらない感染症が猛威をふるい、落ち着かない日々を過ごしました。感染経路の遮断という観点から、ご利用者・ご家族をはじめ関係の皆様には、面会制限や送迎時の検温などのご協力をいただき、感謝申し上げます。施設においても、3密を避ける工夫や消毒の徹底など、予防策に努めて参りました。おかげさまで、これまでに感染症を出すことなく運営できています。

今後の対応につきましては、厚生労働省や行政の方針およびその間の感染状況により、判断して参ります。高齢者施設ゆえ、一般的な判断より慎重にならざるを得ない点、何卒ご了承ください。

緊急事態宣言が解除され、少しずつ町も賑わいを取り戻してきました。そのような中でも、職員一同、気を緩めずケアにあたっていく所存です。

グループホーム青葉台

感染予防については、横浜市作成の「新型コロナウイルス対応状況チェックリスト」に基づき対応をとっています。

発声しながら口を動かす「パカカラ体操」を食事前に行うのが日課でしたが、飛沫感染リスクに配慮し、中止しています。食べ物を飲み込む力を鍛えることを目的に、コツコツ続けてきたご入居者にとってのささやかな、しかし大事な行事でした。

コロナの影響で、毎日行っていたプログラムを制限することは、ご入居者の習慣とされたことが失われるということで、何もしなければ、メリハリのない生活を過ごすこととなります。認知症が進む恐れもあるでしょう。感染予防とメリハリある生活の両立。ここは職員の工夫の見せ所でもあります。認知症介護施設の特性上、難しい場面もありますが、プログラムを行う時は、適切な距離を保ち、個別に対応するなどして乗りきっています。

デイサービスセンター青葉台

1日の定員が少人数であり、3密になる可能性は低いものの、レクリエーション時は大きな輪になって行うなど、ご利用者同士の間隔を充分確保しています。

今まで整理整頓・清潔の観点やスペースの関係上、必要な物品は必要な分だけ確保するようにしていました。しかし、一時期トイレットペーパーやペーパータオルなどの衛生用品が確保できず、グループホームから分けてもらい、なんとかしのぎました。また、朝・昼・晩と一定数の食事を用意するため、毎日の買い物は欠かせません。スーパーは人出が多いため、混雑する時間を避け、メモを片手に短時間で済ませるようにしていました。

こうしてみると、小規模多機能型は家庭の生活とほとんど変わりがないことが分かります。それが良さでもありますが、日用品の管理については、今後検討する必要があると思いました。

コロナに負けず、お元気です！

コロナウィルスの感染が拡大しておよそ3か月、感染対策に努め緊張感あるケアを行いながらも、ご利用者の皆様にはいつも通りの生活が出来る限り継続できるように、工夫して参りました。グループホーム・デイサービスセンターのご利用者のどちらも、体調を崩すことなく、元気に過ごされております。

グループホーム



朝の散歩はまだ人出も少なく、空気が澄み切って気持ちいいものです。適度な運動は感染予防にもつながります。



5月は、鯉のぼりの貼り絵を皆さんと一緒に作りました。大勢で出かけられなくても、これなら室内にいながらにして、季節を感じることができます。

デイサービスセンター



あじさいの貼り絵づくりを皆さんと一緒に。よく見ると、カエルさんも元気に飛んでいますよ。



出来上がったあじさいの作品の前で記念撮影。今度は外に出て、本物のあじさいを見に行きたいですね。

フェイスブックはじめました！

三喜会のグループホーム・デイサービスセンターの日頃の様子を紹介。こちらもおあわせてご覧下さい。



医療法人社団 三喜会
グループホーム・デイサービスセンター青葉台

〒227-0054 横浜市青葉区しらとり台3-9

TEL: 045(981)6900 <グループホーム>

045(982)3200 <デイサービスセンター>